

連盟だより

ユニテ

佐賀県看護連盟

Vol. 17

平成25年12月



石田まさひろ参議院議員
当選おめでとうございます!

平成25年8月31日
佐賀県看護連盟を訪問



Unité(ユニテ)……「統一性」や「まとまり」、行動の「一貫性」などを意味するフランス語。「1」や「1つ」を意味するun(アン)を語源とする。同じくフランス語のunion(ユニオン)がバラバラなものの寄せ集め的な結合を意味するのに対して、unité(ユニテ)は同質のもの、より純度の高い統一を表す。また、単一の基本単位を意味する英語のunit(ユニット)よりも抽象的、理念的な概念



石田まさひろ参議院議員誕生！

おめでとうございます

佐賀県看護連盟会長 岡部 洋子

寒さが身に染みる季節を迎えましたが会員の皆様お元気でしょうか。年末を迎えるにあたり、伊豆大島や他県での自然災害の怖さを思い知らされました。

7月には皆様のお力添えで「看護界初の男性議員を国政に送る」ことが出来ました。看護協会・連盟の皆様からの熱い応援の賜物と心から感謝申し上げます。

石田さんは全国2000カ所を精力的に廻られ、当県においても集会・施設訪問で1300人の看護職にお会いして現場の声を聞き、また熱く語られました。

「貴重な時間を頂き大変有難うございました」皆様の声を糧に活躍されますので引き続き"声"を聴かせていただきたいと思います。

10月には伊勢神宮の「式年遷宮」20年に1回の大祭が行われました。造幣された新宮は内宮、外宮、11の別宮など60棟で1万本の檜が使用され、この檜は神宮の山の檜が使用されており鎌倉時代以来だそうです。

金魚の他、神社が大好きな石田さん、常に若々しいと言う神道の言葉どおり「常若（とこわか）」の心を持ち続けて、次の大祭を超えるまで私たち看護職のため・国民が豊かに暮らせる社会づくりのために頑張ってください！！

応援するのは私たちです。看護の意思をしっかりと持って前進しましょう。



今日のつぶやき

佐賀県看護協会会長 三根 哲子

皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

看護協会は、平成25年4月に「公益社団法人」となりました。

以前にもつぶやきましたが、「公益社団法人」への道は、想像以上に険しく長いものでした。半年が過ぎた今、審査の度に一喜一憂したことや夜中に目覚め眠れなくなった記憶が薄れてきました。これからは、定款違反などの指摘を受けないよう、気を引き締めていくことが大切と、皆で心がけているところです。

さて、7月の参議院選挙では、「石田まさひろ」氏が当選され、本当に喜んでおります。先輩の看護職が大変な思いで築いてきた道を思うとき、今の私たちがやるべきことは…と、後輩として歩むべき道のことを考えます。

「劫初より造りいとなむ殿堂に われも黄金の釘ひとつ打つ」という与謝野晶子の歌を重ねてしまいます。

はたして、私の黄金の釘は…皆様の黄金の釘は…



新日本看護連盟会長ごあいさつ

日本看護連盟会長 草間 朋子

この度、日本看護連盟会長の重責を担わせていただくことになりました。

国会議員としての長年のご経験をお持ちの清水会長の後任としては、力不足であることを痛感しておりますが、会員一人ひとりのみなさまの熱い情熱と各都道府県の看護連盟の組織としてのパワーに支えていただき、超高齢社会を迎えたところからの日本の「治し支えていく」医療保健福祉を支えていくのは「看護の力」であることを目標に、全力投球させていただきます。

チーム医療のキーパーソンと位置付けられている看護職の提供する看護の質が、これからの日本の医療保健福祉の質を左右すると信じております。

看護の質を高めるために働く環境、基礎教育、継続教育、キャリアアップの機会などさまざまな看護問題の改革・改善に、日本看護協会と連携し、看護職の代表である国会議員の先生方の積極的な活動に期待し、自らの力で取り組んでまいります。看護職が、誇りをもってクライアントのために元気に活躍できる職場造りの実現に向けて存在感のある力強い組織にしていきたいと思います。

気力と情熱だけは、誰にも負けないつもりでおりますので、どうぞよろしく申し上げます。

ごあいさつ

衆議院議員 あべ 俊子



佐賀県看護連盟の皆様、こんにちは。いつも温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

参院選の結果、石田まさひろさんを無事国政の場へ送り出していただくことができました。佐賀県看護連盟の皆様にも多大なるご尽力を賜りましたことに、この場をお借りいたしまして心から感謝申し上げます。

一方で、内閣人事の再編がおこなわれ、私は9ヶ月間務めました外務大臣政務官の任を終えることになりました。任期中は海外への出張や有事の際に備えて東京に待機する在京当番等のため、地元にもなかなか思うように帰れませんでした。政府の中で学んだことも多く、このような重責を担う機会を与えてくださった支援者の皆様心から感謝申し上げます。

そしてこれからは、参院選後ねじれを解消することができた国会において、真摯に謙虚に復興をはじめ日本を取り戻すための政策に邁進していく覚悟です。看護界における諸課題に対しても引き続き国政の場で頑張っております。佐賀県看護連盟の皆様温かいお力添えを心よりお願い申し上げます。

ごあいさつ

参議院議員 たかがい 恵美子



先般の参議院選挙において、私たちの看護界から、国会にフレッシュな男性議員を誕生させるという大事業を成し遂げるとともに、国政の健全化に向けた大切な節目を迎えることができました。この喜びをみなさまと共有させていただき、すことを大変光栄に存じます。

新たな看護の議席を得て、これからは、成熟社会日本を支える新たな社会保障制度体系の構築に向けて、いのちを護る者が看ている視点を存分に活かした政治活動を、いっそう強力に進めて参ります。

私にとって初めての議員立法となったDV防止改正法（6/26成立）はいま、一部の方々に“奇跡の法律”と呼ばれています。言わば不健康な関係病理による生命危機を公権で回避する特殊法であるため、議員各位の理解を得る過程が極めて険しかったからです。解決策は明らかでも了解されなければ事を成せない。だからこそ、ともに闘える同志が必要なのです。みなさまのお支えに、心から感謝申し上げます。

～当選おめでとうございます～

ごあいさつ

参議院議員 石田 昌 宏



佐賀県看護連盟の皆様、日ごろよりお世話になりました。ありがとうございます。石田昌宏です。お陰様をもちまして、今夏参議院選挙で当選することができました。

佐賀県看護連盟の皆様から頂いた多大なご支援に、心より感謝申し上げます。お一人おひとりの熱い想いを今もなお感じ続けています。当選証書を授与され、胸に議員バッジをいただいたとき、全国の看護職の仲間の期待をずっしりと実感しました。「さあ、これから看護を元気にし、日本を元気にするぞ」という意気込みに燃えたのが昨日のこのようです。

10月から始まった臨時国会では、社会保障制度改革について活発な議論が交わされています。医療・介護、少子化対策、年金問題など、これからの看護の現場と日本にとって大切な議題ですから、私も党の部会など機会をとらえて積極的に発言をしています。

今後も、看護職が誇りと生きがいを持って働ける現場をつくり日本を元気にするため、精進してまいります。

佐賀県看護連盟の皆様には、改めて感謝申し上げますとともに、今後とも見守り続けていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

石田昌宏参議院議員と共に

佐賀県議会議員 伊 東 猛 彦
看護問題対策議員連盟会長



県庁から西の空を見上げると、佐賀の焼き物をイメージした佐賀県医療センター好生館を見上げることができます。

新しい好生館は、安らぎのある田園風景の中で、緑の芝生があって、医師と看護師と患者が集いあう空間であってほしいと願って、私も好生館建設に向き合ってきました。県民が安心できる救急の医療が提供され、

循環器がしっかりと治療できる感染症対策の拠点病院になることを願います。

私は2月議会の自民党の代表質問において、看護職員の確保について古川知事に問いいただきました。高度医療の提供には、質の高い看護の充実が不可欠であります。看護連盟の皆さんとは、好生館跡地に看護系大学の設立を共に目指してきました。先行き不透明であります。佐賀県で第二の看護大学が必ず設立できるよう今後も情熱をもって取り組みましょう。

石田昌宏参議院議員の誕生を心からお慶び申し上げます。石田さんは、日本看護連盟幹事長の経験を踏まえ、医療、福祉、看護、介護の現場の声に向き合ってきました。

政治とは、国民の声が届き、国民が豊かさを享受できる国づくりこそすべてであります。

私達、看護連の同志も、豊かな国づくりのために、石田参議院議員と共に、歩み続けることをお誓いし、ご挨拶と致します。

選挙カーが走る!

会員の皆様 応援ありがとうございました



神崎病院

看護センター



白石保養院

支部活動報告

1 支部報告 参議院選挙を終えて

1 支部長 陣内 登貴子



暑かった今年の夏の記憶と共に、参議院選挙もずっと前に過ぎ去ったような気がしています。リフォーム連盟と共に引き受けた支部長の仕事も3期目となり、この参議院選挙が私にとって3回目の選挙でした。今回も選挙前の施設訪問や後援会名簿集めなど支部役員挙げて頑張りました。また、今回初めて選挙カーが佐賀にも来て、1支部では早朝から神埼病院玄関前で県議さんはじめ、職員の皆様、地域の皆様のご協力を得て行うことができました。

今回は450票と前回の486票より得票は減りましたが、43名という少ない会員数で10倍以上の票を集めることができたのは、ひとえに会員の皆様、施設の職員の皆様のご支援ご協力のたまものだと思います。本当にありがとうございました。

参議院選挙 熱伝導を感じながら

2 支部長 藤山 美子



7月21日 これで3本の矢がそろったと感じた瞬間でした。連盟会員および支援者の皆様の熱い思いの結果でした。あの熱い夏の日が、日々の業務の中で遠く感じられていますが、いえいえ、石田まさひろ参議院議員のメルマガやHPを見るに、熱伝導はメラメラと燃え広がっています。看護職代表の国会議員3人がやってくれそうだとの期待と共に、私たち看護職は、ベツトサイドから問題点を拾い届ける必要があると思います。これからも看護職が魅力あるやりがいのある仕事として働き続けられる様に、政治に関心を持ちながら、活動を続けていきたいと思います。

参院選に関わって

3 支部幹事長 前田 國弘



君が望むなら（石田）、命をあげてもいい（石田）…… 聞き覚えのある西城秀樹の歌に合わせ志気を鼓舞する石田コールを、2012年6月15日に東京での連盟総会の会場で初めて聞き、“なんだこれは”と思った次第ですが、連盟挙げての支援態勢という感じを抱き、これを機に参議院議員「石田昌宏氏」当選への活動が活発化していきました。

石田氏との出会いは、石田氏が政策企画室長時代ではなかったか？と思いますが、ある研修会後に看護現場や現行制度における問題について話をし、石田氏自身も精神科病棟に勤務したことが有るとの事で、このときから何かしら親近感を抱き、その後の連盟幹事長としての活動を垣間見ていく中で、その人柄に由り興味を持ちました。

これまでのあらゆる選挙に於いて、清き一票と言われる投票行動を行わないという事は無かったのですが、候補者の支援活動は人生初の体験でありました。

この度の第23回参議院議員選挙に於ける支援活動において、看護職における人々の輪や繋がり、看護現場の改善に取り組む役員各位の信念といったものをあらためて感じる事が出来ました。石田昌宏国会議員には、多くの看護職の付託を受けご活躍をお願いしたいと思います。

石田参議院議員誕生！ おめでとうございます

4支部幹事長 江 頭 恵美子



「石田昌宏参議院議員誕生」おめでとうございます。『熱伝導』をテーマに、全国を駆け巡りこれからの日本の看護について、又、健康医療福祉について熱く語っていただきました。佐賀にも何回も来られた折に、温かいやさしい気さくな人柄に接し、是非現場の声を、課題を国政の場で実施させていただきたいと思いました。

私は、初めて選挙のお手伝いを微力ながらさせて貰いました。県の自民党本部で電話による応援をしましたが、現場に行ってみて連盟の方々の熱意を感じて勉強になりました。これから看護に対する期待は大きく、医療全体の中で看護はどういう役割を担うのか自分達で考えなければいけない時代に看護職代表国会議員の石田氏・たかがい恵美子氏・あべ俊子氏の3人で「三本の矢」となって頑張っていたきたいと思います。

第23回参議院議員選挙を振り返って

唐津支部長 前 田 眞理子



参議院選は7月21日に投開票され石田まさひろ氏は201,109票獲得した。県内の石田氏投票数2,063票、会員比率は142.5%であった。

予想はしていたものの、選挙区の投票率は、推計52.61%と過去3番目の低水準であった。1年間の長い選挙戦ではあったが、石田氏の知名度アップと投票行動への取り組み強化のため、第3支部・唐津支部合同研修会を開催した。

唐津支部での石田氏の施設訪問は実現出来なかったが、各施設の協力により研修会の出席者数は大幅に伸びた。また、会員以外の施設や市民への参加呼びかけを行った結果、参加者が徐々に増えている。これからも丁寧な研修会の企画を心掛けたい。

投票1ヵ月前からは、会う人毎に「期日前投票」や「選挙行動」を呼びかけた。唐津支部の目標数は300票であり、前回の高階選挙の231票を上回る319票を獲得した。今回の選挙では、看護協会長からの協力表明もあり、正直「もう少し」得票数が伸びるのではと予想したが「選挙は読めない」と改めて思った結果であった。

勝因分析も大事だが、素直に新議員誕生を喜ぶとともに、有権者のひとりとして石田氏の未知数の可能性に期待し今後も見守り応援したい。

一生懸命に活動して下さった皆様に感謝いたします。

OB支部報告 フレー・フレー 石田

OB支部幹事 副 田 峰 子



看護師ってすばらしい。なぜかって？男性看護師石田昌宏さんを国会議員に当選させることができました。石田さんが佐賀に来られる時は「赤」を身に着けて応援に行きました。にこやかでハンサムで律儀な石田さんにお会いする度に、石田さんこそ看護師の代表にふさわしいという確信を抱いてました。

当選後、お会いした時、胸に国会議員のバッチが付いていました。すでに国会図書館に数回足を運ばれたようで、やる気と頼もしさを感じました。ご自愛の上ご活躍ください。

研 修 会 報 告

3 支部・唐津支部合同研修報告会

唐津赤十字病院 西原 三重

日 時：平成25年6月29日（土）

演 題：「後悔しない在宅ケアを目指して」

講 師：医療法人ゲズンハンドひげドクターのお元気でクリニック 理事長 安倉 俊秀 先生

虹の松原ホテルにて3支部・唐津支部合同研修会が開催され、124名の参加がありました。

講演の始めに佐賀県看護連盟会長の挨拶があり、次にDVDにて石田まさひろ氏の「看護が豊かに行われる社会づくりを目指して」の活動報告がありました。

患者と共に感動を味わえるよう、また、いい看護をしていると実感ができるように、政治の立場で看護の環境を整えていきたいという気持ちが表れた内容でした。看護の環境を整えることを使命とし、これからの看護界についての思いが伝わる熱い内容でした。ぜひとも国政の場で活躍して、私たち看護職の現場の声を聞き、現場の声を形にしてもらいたいと思います。労働環境を整えるには、政治力が不可欠だと考えます。ぜひとも活躍を期待したいところです。

安倉先生によるお話は、患者だけでなく家族との関わりを大切に、常に家族へ患者の情報共有を怠らないなど在宅ケアで大切にしていることをたくさん聴くことができました。患者、家族との思いを一つにして、在宅ケアの素晴らしさを伝える心にしみのお話でした。お話の中に、ターミナルケアにあたっての8ヵ条がありました。そのなかで、「どんな利用者の死も無駄にすることなく明日の介護に活かそう」という言葉が心にしみました。看護はやりがいのある仕事です。「どれだけやりがいをみつけられるか」、「どれだけ素晴らしさをみつけられるか」自分が幸せになることで人を幸せにできるのだと思います。私たち看護職は、人を幸せにするために自分自身も生き生きと毎日を過ごしたいものです。

佐賀県看護協会・佐賀県看護連盟合同若手看護職・一般会員研修会に参加して

佐賀大学医学部附属病院 井田 博子

7月3日、佐賀県看護協会・佐賀県看護連盟合同若手看護職・一般会員研修会に参加した。フリーアナウンサー 副田先生の講演では、相手の言葉だけに関心を向けるのではなく、その言葉が出た背景から感情をくみ取り、それに対し反応を返すことで、相手の心に寄り添うコミュニケーションを図ることができることを学んだ。

また佐賀県の若手会員の活動内容についてニュース形式というユニークな方法で報告があった。看護職の問題解決のために佐賀県だけではなく、全国規模で活動が行われていることを知った。私はこれまで看護職の問題点に意識が向くことはあったが、周りとは話し合ったり、解決策について考えたことはなかった。しかし、佐賀県看護協会会長の三根先生の「みんなでジャンプ」という言葉にもあったように、看護職者ひとり一人が、今置かれている立場や政治に関心を向け、行動を起こすことが求められていると感じた。まずその第一歩が、選挙に参加することであると思う。

第18回日本看護サミット愛知'13開催

佐賀県看護連盟 副会長 無津呂さよ

10月30、31の両日、『日本看護サミット愛知'13』が開催され、のべ5,500人の参加がありました。メインテーマは「看護の新たな価値の創出」。開会式では、主催者を代表して、大村愛知県知事、中井実行委員長（愛知県看護協会会長）の挨拶がありました。知事は、愛知県では「地域包括ケアシステムを全国に先駆けて行う、切れ目のない医療福祉を行う」と述べられ、その中には看護職もしっかりと役割を期待されていると思い、羨ましいなと思いました。開会式のあと、井部俊子聖路加看護大学学長の基調講演『看護の新たな価値創出に向けて』がありました。講師は「身近なことから看護を語ることから始めよう」何をしているかを問われて、看護が行ったことにどのような価値があるのかを語らなければならない。「私の看護どうでしたか」と日常的に問わなければならない。問うてないので自信・手応えを持ってない。看護師はベッドサイドで意図していないかもしれないが、かかわりの中で大事なことをしていると語られた。なるほど、私達はそれらをもっと自覚して、はっきりさせて、看護の価値について考え、機会ある毎に語り、又その技術をさらに高めることに役立てなければならないと思いました。分科会Ⅲ『看護の拡がり-地域に向けた役割拡大・業務拡大-』に於いて、佐賀県看護協会訪問看護ステーション・ケアステーション野の花統括部長の上野幸子さんがシンポジストとして発言され、この分野では佐賀県は先進的な取り組みがされていると誇らしく思いました。

当 選 お 祝 い

5 支部長 古 川 津代子

私たち佐賀県看護連盟県役員は参議院議員会館に初当選の石田昌宏議員のお祝いに駆けつけました。9月20日に平成25年度第2回都道府県看護連盟会長・幹事長・支部長合同会議が東京プリンスホテル「鳳凰の間」にて開催され第23回参議院議員選挙総括について協議されましたが、その会議の開催前に会長他9名は佐賀空港発6時30分の飛行機で東京へ飛び立ち参議院会館へ向かいました。受付では訪問目的を記入して許可証を胸からさげてセキュリティ検問を通過してから、福岡議員の事務所に挨拶に伺いました。福岡議員のご都合に合わせて秘書で佐賀県有田町出身の岩永さんに案内していただき、山下雄平議員事務所や高階恵美子議員の事務所に向かいました。あいにく山下さんは佐賀県に高階さんは海外に出張されていましたが秘書の方とお話して看護連盟の応援色紙などを見せていただきました。福岡代議士は皆様ご存知のように内閣府大臣政務官兼復興大臣政務官に現在就任なさっていますが、今まで厚生労働部会関係で大変ご支援を受けていた、看護職の強い味方の議員さんです。

初めての男性看護師石田昌宏代議士の部屋は11階の1号室でなんと国会議事堂を眼下に見下ろせる展望室のすぐ横で素晴らしい眺めが堪能できました。

医療職を熟知した先生は、これからの日本に欠かせない議員さんで看護連盟の会員が応援した誇れる議員さんだと思います。自宅を朝5時に出発したこの日は会議終了後の懇親会出席まで充実した一日でした。これも皆様の熱伝導で石田さんが無事当選されたから体験できました。ありがとうございました。



心地よい眠りで、あなたの元気を応援します。

東洋羽毛の羽毛ふとん

クリーニングやリフォームなど、羽毛ふとんのアフターサービスは東洋羽毛へおまかせください。

おはようの未来へ



おかげさまで60周年



東洋羽毛九州販売(株)長崎営業所

〒856-0046 長崎県大村市木場2-200-1 フリーコール：0120-104-203



ポリナビワークショップinさが・ミニバレーボール大会を開催して

青年部委員 樋渡 真葵
(伊万里有田共立病院)



平成25年11月9日ポリナビワークショップinさが・ミニバレーボール大会を開催しました。お忙しい勤務の中、佐賀県内より約50人の方々に参加を頂きました。本当にありがとうございました。お揃いのユニフォームで参加されているチーム、男女ナイスコンビネーションで試合をされているチーム、不器用ながら一生懸命声を掛け合い試合されているチームなど、どのチームも印象的でした。前回大会に参加頂いた石田まさひろ先生より「頑張って、楽しんで、親睦を深めて下さい」とのメッセージがありました。その言葉通り皆さんヒートアップし、楽しめた大会だったと思います。

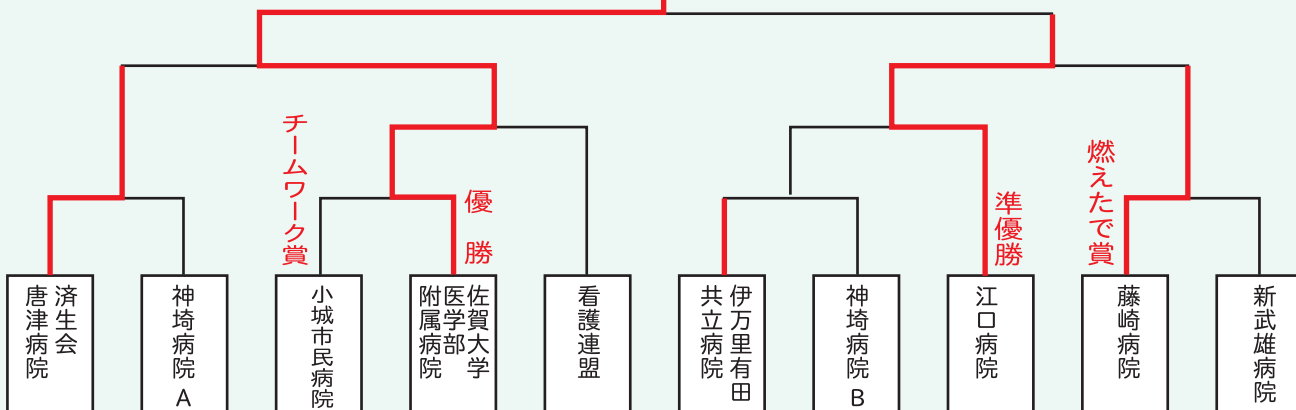
遅くなりましたが、石田先生当選おめでとうございます！！

ポリナビ青年部の活動を始めてもう少しで2年になろうとしています。看護連盟の活動はどうしても若い世代の方には遠い活動のように思われがちです。そんな人たちに少しでも看護連盟に興味を持ってもらいたい、ポリナビの活動を知ってもらいたいと強く思い活動を行っています。実は私もポリナビのメンバーに入るまでは実際、看護連盟はどんな活動をされているのか全く知りませんでした。しかし機会があってポリナビの活動をさせて頂けるようになり活動を通して、私達の職場環境は自分が声を大にして言わないと国には届かない、言わないとますます悪くなるばかり、また声を出すにも一人で言っても聞いてもらえない、みんなで力を合わせて看護の現状を国に伝えて行こうとする活動だと分かりました。そんな看護連盟の活動って凄く大切な事だと思いませんか？

現在の状況としてまだまだ看護連盟の認知度は低いです。今後も少しでも看護連盟の活動を理解してもらえるように頑張って、よければポリナビのメンバーを増やせたらいいなと思っています。皆さんご協力よろしくお願いします。



佐賀大学医学部附属病院



平成25年度 第4回ポリナビワークショップアンケート結果

出席者57人 回収42枚

1. 年代

- ① 20代 (28)
- ② 30代 (14)
- ③ 40代 (2)
- ④ 10代 (1)

2. ミニバレーボール大会に参加された動機はなんですか？

- ① 上司に勧められて (27)
- ② ポリナビ案内を見て (11)
- ③ 運動に興味があったから (5)
- ④ その他 (2) 前日も出席した。同僚に誘われて。

3. ミニバレーボール大会はいかがでしたか？ (複数回答可)

- ① 楽しかった (38)
- ② 運動が必要と思った (9)
- ③ 次回も参加したい (7)
- ④ 交流が出来た (4)

4. 今後のポリナビワークショップの活動にどんなことを希望されますか？

- ① ミニバレーボール大会 (39)
- ② 研修会 (1)
- ③ 講演会 (0)
- ④ その他 (1カラオケ)

5. 看護連盟の活動を知っていますか？

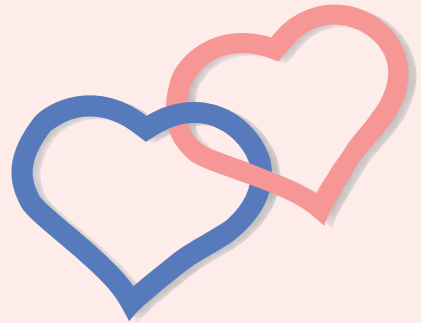
- ① あまり知らない (25)
- ② 知っている (10)
- ③ 全く知らない (5)
- ④ 今日の参加で少しわかった (2)

参加された感想、今後の希望などご意見を聞かせて下さい。

- ・ 普段あまり運動しないので体を動かすことが出来て楽しかった。
- ・ ミニバレーボール大会を続けてほしい。
- ・ 次回も参加したい。
- ・ 全国大会をして欲しい
- ・ 支部長挨拶を一人か二人にお願いできるとありがたい、準備ありがとうございました、楽しかったです。

県役員・青年部募集

佐賀県看護連盟役員の任期満了に伴い、後任を募集しています。(平成26年度より) 自薦他薦は問いません。看護職が抱える問題解決のため、共に活動して下さる方を求めています。



研修案内

3支部研修会

期日：平成26年2月1日 (土)
13：00受付 13：30～
場所：伊万里商工会議所
研修：看護連盟基礎研修
コンサート
エメラルドグリーン

唐津支部研修会

期日：平成26年2月8日 (土)
13：00受付
場所：唐津市虹ノ松原ホテル
1階大ホール
唐津市東唐津4丁目
☎ 0955-73-9111
講演：「身体が動けば心が動く、
心が動けば人生が豊かになる」
～自分が好きになるヨーガ～
講師：フィットネス智代表 上妻 智子 先生

看護協会・看護連盟合同 看護管理者研修会

期日：平成26年2月23日 (日)
13：30～16：00
場所：看護センター
講師：参議院議員
石田 昌宏 先生

医療法人整肢会 副島整形外科病院

武雄市武雄町大字富岡 7641-1



看護の日のイベント

整形外科分野の急性期疾患を中心とした医療機関で骨折・外傷等の急性期整形外科疾患や変形性関節症（股関節、膝関節など）の人工関節手術肩関節・膝関節等の関節鏡手術を行っています。病床数 58 床（急性期 48 床、亜急性期 10 床）年間手術数 約 1200 例平均在院日数 15 日。当院は、今年で開設 120 年を迎え 120 周年記念野球大会やバレーボール大会、ゲートボール大会などのイベントが開催されました。看護配置は 7 対 1 入院基本料を算定しています。看護部の約 3 割が男性看護師であり、比較的男性が多い職場ですので、参議院議員となられた石田まさひろさんには今後の活躍を大いに期待しています。これからも武雄の地で、地域に密着した病院として信頼されるよう努めていきます。

発行所 佐賀県看護連盟
 〒849-0201 佐賀市久保田町徳万1997-1 (看護センター内)
 TEL 0952-68-5437 FAX 0952-68-5438 編集発行人 岡部洋子
 E-mail : sagakanorenme@gaea.ocn.ne.jp

会員募集



看護連盟は看護職の代表を国政の場に送り、看護と国民の健康・福祉のため強力な活動を推進しています。

年会費 8500 円（本部会費5000円・県会費3500円）

特別会員：看護協会会員の経歴を有し、未就業の方も入会できます。（会費 8500 円）

賛助会員：当連盟の主旨に賛同いただける方であれば、一般市民、介護職の方など、どなたでも入会できます。

看護連盟を支えるのはあなたです！

ご存知ですか？

編集後記

今号は石田昌宏参議院議員誕生のお祝い号です。会員及び賛助会員の皆様、ご支援いただいた看護職、関係者の皆様 ありがとうございます。皆様の頑張りに感謝!!



広報委員 松永 勇樹 篠原 まゆみ 名嶋 すみ江 江頭 恵美子 古川 津代子
 中村 恵利子 無津呂 さよ